

令和元年 8 月 27 日開催教育委員会会議記録

1 開会・閉会等について

日 時	令和元年 8 月 27 日（火） 午後 3 時 0 0 分
場 所	教育委員会室
開 会	午後 3 時 00 分
閉 会	午後 4 時 26 分
出席委員	
教 育 長	加 藤 裕 之
委 員	阿 部 博 道
委 員	坂 根 慶 子
委 員	淺 松 三 平
委 員	白 石 祐 一
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	青 木 剛
教育委員会事務局参事 （庶務課長事務取扱）	宮 本 知 幸
学 務 課 長	西 村 克 己
指 導 室 長	横 山 圭 介
すみだ教育研究所長	石 原 恵 美
地域教育支援課長	石 岡 克 己
ひきふね図書館長	高 村 弘 晃

2 議題について

議決事項

- 第1 議案第 31 号 令和元年度墨田区一般会計補正予算（第 5 号）案に関する意見の
聴取について

報告事項

- 第1 教育課題の進捗状況について（資料 1）

第2 民謡民舞東京連合大会入賞者に対する表彰状の交付について（資料2）

第3 「墨田区学習状況調査」の結果について（資料3）

3 会議の概要について

教育長 それでは、本日の教育委員会を開会します。本日の会議録署名人は、浅松委員にお願いします。本日の日程ですが、議案第31号については、行政運営上の審議情報が含まれていることから、秘密会として審議したいと思います。いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

教育長 それでは、議案第31号については、秘密会として執り行うこととします。なお、会議の進行については、報告事項が終了した後、秘密会に入ることとします。

報告事項第1・・・資料1-1～1-4

「教育課題の進捗状況について」、庶務課長、指導室長、すみだ教育研究所長が資料のとおり説明する。

庶務課長 （「学校における働き方改革の推進」について説明。）

教育長 ただいまの報告について、なにかご質疑はありますか。

坂根委員 施設の貸出方法について、11月末にホームページを開設するということが、申込みは3カ月前からですか。

庶務課長 今回のホームページ開設については、学校施設の貸出方法がわからないという問合せが多く寄せられますので、貸出方法について周知を図ることが目的です。ホームページからの申込みについては、今後検討していきたいと考えています。貸出しの申込みは2カ月前からとなっています。

坂根委員 区内の方も区外の方も同様ですか。

庶務課長 区内の方は使用日の2カ月前から、区外の方は1カ月前からとなっています。

坂根委員 紙で申し込むのですか。

庶務課長 はい。将来的にはインターネットでの申し込みも目指していきたいと考えています。

白石委員 放課後の学校の緊急対応についてですが、留守番電話で対応する時間は何時から何時までですか。また「導入に際して、保護者等に周知した」と書いてありますが、

保護者以外には具体的にどこに周知したのですか。

庶務課長 留守番電話で対応する時間は、原則として、幼稚園・小学校は午後6時から翌日の7時45分まで、中学校は午後6時半から翌日の午前7時45分までとなっています。保護者以外への周知については、PTAと育成委員会等に周知をしました。

白石委員 地域の方が学校に電話することもあると思いますので、ホームページに掲載して、早目に周知した方がよいと思います。

庶務課長 区のホームページや教育広報「いきいき」にも掲載して、周知していきたいと考えています。

指導室長 「学校だより」は学校運営連絡協議会の委員などにも配布されますので、配布される方には周知されます。

浅松委員 校長室の電話も含めて、全ての電話が留守番電話になるのですか。修学旅行や移動教室の際には7時前の連絡もあると思いますが。

庶務課長 基本的には代表電話が留守番電話のメッセージに切り替わります。緊急の場合は区役所に電話していただくこととなります。詳細については校長会等で話を詰めていく予定です。

指導室長 行事等で早朝対応が必要な場合は、留守番電話の設定を解除したり、別の電話番号で対応するといった方法について検討していきます。

阿部委員 ホームページ開設の件ですが、各学校のホームページの画面数が増えるということでしょうか。

庶務課長 はい。

阿部委員 情報が日々更新される学校もあれば、更新されないままの学校もあります。将来的にインターネットを使って貸出し申請をするときには、誰が管理するのですか。

庶務課長 今回は貸出し方法について周知することが目的です。今後は申請書のダウンロード等、利便性の向上に努めていきたいと思います。また、学校ホームページの更新につきましては、更新状況を庶務課で把握しています。ご指摘のとおり、頻繁に更新している学校とそうでない学校があります。ホームページの情報は地域や保護者の方から注目されているということを経験したことを校長会等で話し、できる限り頻繁に更新するように指示をしています。

教育長 続きまして、新学習指導要領への対応について説明をお願いします。

指導室長 (「新学習指導要領への対応」について説明。)

教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はありますか。

浅松委員 7月2日の横川小の道徳教育推進教師連絡会の講師は誰ですか。また、指導上の評価をする際に、教員の課題となっている点があれば教えてください。

指導室長 梅若小の土生津副校長が講師を勤めています。土生津副校長は東京都の研修センターで道徳を担当しています。子どもたちが記述に至るまでの活動の捉え方が、教員にとっては関心が深いところで、質問もそこを中心に行われています。研修会で得たものについては各校に持ち帰って他の教員に還元することになっていますが、指導室からも情報発信をしていきたいと考えています。

浅松委員 子どもたちの評価について、学校への問合せがあったという話は出ていますか。

指導室長 これまでのところ、指導室に道徳の評価に関わる質問や苦情が寄せられた事例はありません。各校で何か特別なことがあれば報告があると思いますが、そのような事例も今のところありません。

教育長 続きまして、「学力向上新3か年計画（2次）の策定」について、説明をお願いします。

すみだ教育研究所長 （「学力向上新3か年計画（2次）の策定」について説明）

教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はありますか。

（質疑なし）

教育長 続きまして、「幼保小中一貫教育推進計画の実施」について、説明をお願いします。

すみだ教育研究所長 （「幼保小中一貫教育推進計画の実施」について説明）

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑はありますか。

（質疑なし）

報告事項第2・・・資料2-1

「民謡民舞東東京連合大会入賞者に対する表彰状の交付について」、庶務課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの報告について、なにかご質疑はありますか。

（質疑なし）

報告事項第3・・・資料3-1～3-13

「『墨田区学習状況調査』の結果について」、すみだ教育研究所が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの報告について、なにかご質疑はありますか。

坂根委員 学力が向上していることは大変喜ばしいと思いますが、小学校国語の短期目標「言語についての知識・理解・技能」は、第2学年でいつも目標値を下回っています。2年生ということは1年生時の学習成果ですが、ほかの教科では特に問題はありません。私見ですが、1年生の国語に対して教える側が全般的にいわゆる学校文法の言語として見ているのではないかと思います。伝統的な国語の教育法では指導も難しいと思います。小学校国語の教科書採択の際に、疑問に思ったところが幾つかありました。どの出版社にも言えますが、学習指導要領の解説をそのまま教科書に書いています。具体的には、小学校1・2年で「主部と述部を気づかせる」というところがあるのですが、はたしてそういう難しい言葉を使う必要があるのか、どのように教えるのだろうかと思いました。そういう点では教員の理解と子どもの理解に乖離があるので、このような現象が起こるのではないかと判断しました。「読む能力」、「書く能力」は伝統的に研究がなされていると思いますが、「言語についての知識・理解・技能」は今までの国語教育ではできなかった分野ではないかと思います。その辺についてどのように考えているのか、すみだ教育研究所と指導室からそれぞれ教えていただきたいと思います。

すみだ教育研究所長 具体的にこれが何を意味しているのか調査したところ、「草」や「虫」といった漢字を、10人中何人かが間違えてしまうという分析をしました。漢字について1年生が学ぶ範囲は限られていますので、取りこぼしのないように、さまざまな教材を使って指導していこうと考えています。

坂根委員 書く能力は低いわけではないということですね。

すみだ教育研究所長 はい。書く能力は低くはありません。

坂根委員 しかしそれに附随していますから、特に漢字に限定できるとは言えないのではないのでしょうか。

すみだ教育研究所統括指導主事 すみだ教育研究所長から話があった「言語についての知識・理解・技能」という観点における、漢字の書きと読みの問題で、例えば「虫」の「点」の打つ場所が、左右逆になってしまう割合が、分析をした結果では多い状況にあ

るということです。

教育長 「言語についての知識・理解・技能」の観点で、数年にわたって全国平均正答率よりも低いことに対する分析をしたら、漢字が原因だったということですね。

すみだ教育研究所統括指導主事 はい。

教育長 墨田区の学校全てが低いのではなく、学校間の差が大きいということですね。

すみだ教育研究所統括指導主事 全体で考えると、全国よりも少し低いという状況です。

坂根委員 ただ、漢字の書き取りをやらせればよいと思われてしまうと困ります。ノルマを課してやらせると逆効果です。

指導室長 学習指導要領で定められた内容をきちんと達成することは外してはいけないことと思いますが、教科書を使って指導する際に、教員が子どもたちのつまずきの傾向を理解して適切に支援や補足をしていくことは、全ての教科において重要だと考えています。来年は新しい教科書に変わりますので、今後、その教科書を使った学習指導方法を研究していくときに、子どもたちが本質をきちんと段階的に学んでいけるように、各研究会等の協力も得ながら、授業方法の改善を進めていきたいと思っています。

坂根委員 よろしくをお願いします。

浅松委員 資料3-12の「(3)教材コンテンツの整備」は本当に大事なことだと思います。今回も中3に英語が入ることで課題が見えてきましたが、中学校だけではなく、今後教科化される小学校の時点から意識していかななくてはなりません。各校長も単なる目標値の達成や、テストの振り返りを気にするだけではなく、教員が、子どもたちの状況をきちんと把握した上で授業改善をしているかについて目を向けないといけないと思います。点数が取れるかどうかは指導のあり方の問題なので、校長が授業観察をして評価面接の際に適切に伝えていかななくてはなりません。それゆえ、校長がどのくらい授業観察をしているかは非常に重要です。まめにやっている校長もいれば、そうではない校長もいると思います。また、国の調査や都の調査もしっかりやることによって、発展的なA層B層の増加につながっていくと思います。

すみだ教育研究所統括指導主事 都の調査も「読み解く力」という分け方をしなくなったのですが、問題の中身自体は残っていて、単元ごと、学年ごと、大問ごとに切り分けてコンテンツの中に入れていきます。丸ごと1つ入れると、すべて取り組むのが難しくなるので、単元ごとに大問を1問ずつ入れて、学校が使うための整備はほぼ終わったところだと思います。

教育長 小学校ではアウトプット中心にやっていくことで成果が上がっていますが、中学校では本当にアウトプットをやっているかという話もあります。社会と理科はただ単にまとめるだけではなく、アウトプットが必要だということで各校長とも話しています。

指導室長 教員の業績評価に関わる授業観察について、要領の中では年2回以上、1単位時間の授業を観察するように定められています。日常的に授業観察をすることで、人材育成につなげ、教員の授業力を高めることは管理職にとって重要な仕事であると、繰り返し話をしています。1単位時間の授業を見てもらっていないという声が継続的に上がってくるようなことがあれば、校長の人事ヒアリングの際に必ず聞き取りをします。授業観察の際に「こういう視点で授業を見ている」とあらかじめ教員に示している学校は、教員がそれを踏まえて授業に反映させるので、組織的に向上が図られていると感じています。また、指導略案を授業観察の際に提出させて、教員が日ごろから指導方法をしっかり考えて取り組むよう、意識づけを図っています。

浅松委員 校長面接の際に、「自分の授業を見てくれているのか」と不満を言う教員もいると思います。校長の評価によってやる気生まれてくることもあれば、逆に不信感が生じることもあります。よって、面接だけではなく、普段から声かけをすることも大事です。あらためて指導室からご指導願いたいと思います。

阿部委員 資料の3 - 6を見ると、小学校では確かにD・E層が少しずつ減少していて成果が出ている印象を受けます。一方で、中学校の理科と社会は、D・E層が半分近くを占めるところが結構あり、抜本的に対策を講じないと改善されないのではないかと思います。このことについて、どのように分析されていますか。

すみだ教育研究所統括指導主事 中1・中2・中3全ての社会と理科について、平成28年度と平成31年度を比べていただくと、どの学年も割合自体は減っています。例えば、1年の社会は55.0が39.0に、ほかも全て同様ですが、減っている状況です。ただし、まだ十分ではないというご指摘については、そのとおりだと思います。平成28年度から比べると、平均を5ポイント以上下回っている観点の数は大幅に減っていますが、社会や理科は現在進行形だと捉えています。小学校で比較的良好な結果が出ていますので、中学校においても現計画を引き継ぎながら進めていきます。

教育長 中学校1年生の結果は、小学校6年生時の成果ですが、私立中学に2割ほど進学していることへの影響があると思います。1年間かけて中学校できちんと教えてはいますが、A層・B層を増やしていかないと、D層・E層は減っていきません。そのため、

小学校6年生時にどれだけがんばれるかが、一つのポイントだと思います。6年生時の結果がD・E層であっても、1年間でB層、A層に入ってくる子もかなりいることが、分析の結果でわかっています。理科・社会については、アウトプットの機会が余りないので、そこが課題であると考えています。

浅松委員 前にも申し上げたと思いますが、おそらく、中学3年生の卒業時での学力はかなりついているはずで。結局、中学3年生での1年間の学習による成果は、高校入試の時期に表われますので。

教育長 私立中学へ進学する子どもが除かれてしまうという話をしましたが、成績のよい子どもが抜けたとしても、1年間かけて成績が上げる可能性もありますし、実際に、成績が上がっている学校もありますので、期待は持てます。すみだ教育研究所からも、校長に対して同様の話をしています。また、D・E層が急にA・B層に移行することは、基本的な積み上げ学習の観点から考えると、あり得ないことだと思いますが、中には、そのような子もいます。

阿部委員 社会科は、単元を集中的にやれば力が伸びますが、数学は難しいと思います。

坂根委員 資料3-6、小学校2年は国語のA層が9.3%、B層が48%、算数に至ってはA層が21%です。小学2・3年生の国語と算数は、A層・B層が6割ぐらいですが、社会に関しては、A層が10%以上の学年はありません。もともと、A層・B層が低い科目なのです。それゆえ、中学に入ってもずっと影響があります。理科・社会は、生活・社会全般に対する興味・関心が特に強く求められる科目なので、その辺を引き出すのがなかなか難しいのではないかと思います。別に教科としてではなく、自然に対して、機械に対して、新聞やテレビの時事なことに対して関心を持つことから入るのが一番です。現代社会では、保護者も含め、テレビも見ない、新聞も読まない、そういう中であって生活・社会全般に関心を持つことが基本的な問題だと思います。

教育長 いずれにしても、小学校は、まだ理科が弱いので、今年1年間で取り組んでいかななくてはなりません。現実問題として、小学校の教員は国語と算数に力を入れているので、今度は理科・社会に力を入れていきます。坂根委員の言う「関心を持たせれば上がる」というのは、学習心理学でもあります。現在、すみだ教育研究所では、教員が扱うコンテンツや電子黒板等を紹介しながら授業で使えるようにしていますが、まだ使いこなせてはいない状況です。また、学校間でも2層化しているのが現実です。中学校は10校しかないで、余計に2層化が目立っています。少しお時間をいただいて、またご

意見をいただければと思います。

その他 1

坂根委員 社会の副読本「ふるさとすみだ」は毎年改訂しているのですか。

指導室長 毎年、部分改訂をしています。

坂根委員 学習指導要領が変わりましたがどう影響しますか。

指導室長 大きな改訂によって対応することになります。

坂根委員 写真や人口のデータが古いものもあり、内容も「いつの話なのだろうか」というものがありました。これはいつごろ完成するのですか。

指導室長 社会科の教科部会の教員にも協力をいただきながら作業を行っており、今年度中には印刷製本して、来年度当初には活用していただけるように進めています。ご指摘いただいた写真や資料に古いものがあることについてですが、統計資料等は改訂のたびに新しいものを取り入れています。十数年変更されていない写真があることも事実です。これまで十分な改訂が行われなかった反省のもと、新しい教科書、学習指導要領の内容も踏まえて、改訂したいと思います。

坂根委員 先生の手に渡るのはいつ頃ですか。

指導室長 カラー印刷でページ数も多いのですが、早い段階でお渡しできるよう努力していきたいと思っています。

坂根委員 小学校3年生は初めて社会科を学ぶので、先生の授業研究のためにも、なるべく早めをお願いします。

教育長 中学生用もあるのですか。

指導室長 中学生用もあり、来年度改訂されます。

教育長 中学生用も毎年部分改訂しているのですか。

指導室長 毎年度、部分改訂しています。

坂根委員 今回は大きな改訂になるわけですね。

指導室長 はい。墨田区の状況がどうかということをきちんと読み取れるようなものになります。

その他 2

坂根委員 中学校のチャレンジ教室に1日だけ伺いました。教える学生も上手で、生徒たちも熱心に取り組んでいました。また、最初にプレースメントテストはどのようなものやるかと尋ねました。小学校の英語教科書と突き合わせて考えたところ、小学校5年でほぼできて、6年だったら100%できるようなものをしていました。現在の中学1年の7月頃までに、成績が真ん中の子どもは100点がとれる問題だということです。一番できない子は6点ということでした。配点ではアルファベット大文字が10点、小文字が10点ですから、6点というのはそれが書けないということです。それを踏まえて考えると、これからの小学校の英語課程の内容であり、現在の大体中学1年生の7月頃までの内容だと私は判断しました。

教育長 それでは、会議冒頭での取り決めにより、議決事項第1については、行政運営上の審議情報に関わる案件であることから、秘密会として執り行うこととしますので、傍聴人の方はご退出願います。

(傍聴人退室)

秘密会/教育委員会会議規則第26条第2項の規定により、別に会議録あり

教育長 以上で本日の議事は全て終了しましたので、これで教育委員会を閉会します。